

まちづくり



中央区・資生館小学校
5年2組の作品



住みよいまちを
みんなでつくっていきませんか

もくじ

- 表紙のことば／広報番組／広報クイズ..... 1

特集1

みんなの思いが
まちのチカラに

2

特集2

あなたの声を
まちづくりに生かします
～ふらっとホームでの対話を紹介

6

- 今月のニュース..... 8
「4月から障害者総合支援法が
施行されます」^{ほか}
- 災害に備える・拡大版..... 10
- 札幌市からのお知らせ..... 13
おでかけガイド..... 22

区民のページ

.....「札幌市からのお知らせ」の後ろ

市長と語ろう！
中央区のまちづくり

クーポン&
プレゼント

私たちの作品のテーマは「春」。作っている時は、細かいところが多くてうまくできるか不安だったけど、とても上手に出来上がってうれしかったです。友達の作品も個性豊かに作られていて、私も見習いました。また家でも作ってみたいです。



ねんくみ ともだち せんせい
5年2組のお友達と先生

市の各種制度や施設、行事、公共交通案内などは
札幌市コールセンター

☎ **222-4894** FAX **221-4894**

Eメール info4894@city.sapporo.jp
8時～21時（土・日曜、祝・休日を含む）

？ 市政に関するご意見、ご提案などは
市民の声を聞く課

☎ **211-2042** FAX **218-5165**

※下記ホームページでも市政提案のメールを受け付けています。

💻 **札幌市役所ホームページ**

www.city.sapporo.jp

※広報さっぽろの誌面も掲載。10区全ての区民のページもご覧になれます。

携帯電話対応サイト

<http://www.city.sapporo.jp/mobile/>

こちらからもアクセスできます→



市役所・区役所などの連絡先

- 市役所
〒060-8611 中央区北1西2／地下鉄大通駅下車
☎211-2111（代表）FAX218-5161（広報課）
- 区役所（電話は代表、ファクスは広聴係）

中央区	南3西11	☎231-2400	FAX231-6539
北区	北24西6	☎757-2400	FAX757-2401
東区	北11東7	☎741-2400	FAX742-4762
白石区	本郷通3北	☎861-2400	FAX860-5236
厚別区	厚別中央1の5	☎895-2400	FAX895-2403
豊平区	平岸6の10	☎822-2400	FAX813-3603
清田区	平岡1の1	☎889-2400	FAX889-2402
南区	真駒内幸町2	☎582-2400	FAX582-0144
西区	琴似2の7	☎641-2400	FAX641-2405
手稲区	前田1の11	☎681-2400	FAX681-6639

※市税事務所の所在地、電話番号は28ページをご覧ください。

- 大型ごみ収集センター（大型ごみの有料収集申し込み）
9時～16時30分（土・日曜、祝・休日を含む）
☎281-8153 耳や言葉の不自由な方は☎281-4622
- 救急医療情報案内センター（24時間）（医療機関の案内のみ）
フリーダイヤル ☎0120-20-8699
携帯電話、PHS専用 ☎011-221-8699
- 夜間急病センター
中央区大通西19／地下鉄東西線西18丁目駅下車
☎641-4316 ☎615-8604

札幌の人口と世帯

2月1日現在（前月比）
国勢調査ベース
1,930,084人（-357）
911,818世帯（-93）

市内の交通事故

平成25年1月1日～1月31日（前年比）
発生 611件（+56）
死者 0人（-3）
傷者 711人（+67）

広報さっぽろは、毎月10日までに、町内会などを通じて市内の全世帯に配布しています。また、一部の地域では、市が委託した民間の会社が配布しています。詳細は、広報課かお住まいの区の区役所広聴係へお問い合わせください。

編集 **札幌市市長政策室広報部広報課**
〒060-8611 中央区北1西2 ☎211-2036 ☎218-5161
Eメール kohokakari@city.sapporo.jp

今月の広報番組

テレビ	ラジオ
札幌ふるさと再発見 STV 毎週土曜 11時54分～59分 [内容] さっぽろ「お買い物 de まちづくり」プロジェクト。	スマイルさっぽろ HBC AM 1287kHz 3月9日（土）、23日（土） 9時15分～25分 [内容] まちづくりトーク。 ※3月23日（土）市長出演予定
いいコト聞いた UHB 毎月第2、第4日曜日 8時55分～9時 ※今月は放送をお休みさせていただきます	さっぽろ散歩 STV AM 1440kHz 毎週土曜 11時30分～45分 [内容] ペットを飼うということ ～動物管理センターから。
ウォッチング札幌 TVH 毎週火曜 22時54分～59分 [内容] 環境にも家計にもやさしく ～始めよう！エコクッキング！。	サッポロ・シティ・ナビ NORTH WAVE FM 82.5MHz 3月3日（日）、17日（日）、31日（日） 9時50分～10時 [内容] いざという時のために今できること ～災害に備えて。

中央・東・厚別・豊平・西区の広報番組を、それぞれの区内にあるコミュニティFM局で放送しています。放送日時などは、上記5区の区民のページをご覧ください。

※テレビ番組は、インターネット配信を行っています。

<http://www.city.sapporo.jp/somu/tvradio/movie.html>

広報クイズ

問題

市内に87カ所ある「□□□センター」では、町内会活動など、身近な地域の取り組みを知ることができます。
□に当てはまる平仮名5文字をお答えください。

プレゼント

正解者の中から抽選で30人の方に、共通ウイズユーカード（1,100円分）を差し上げます。



応募方法

はがき、ファクス、Eメール。クイズの答え、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号と、広報誌や広報番組へのご意見・ご感想を記入し、広報課（左記）へ。1人1通。3月21日（木）消印有効。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。なお、2月号の正解は「スマイル」でした。

みんなの思いが まちのチカラに

きれいに掃除された道、沿道に咲く花、子どもの笑い声が響く公園一。

私たちには当たり前に見える光景かもしれません。

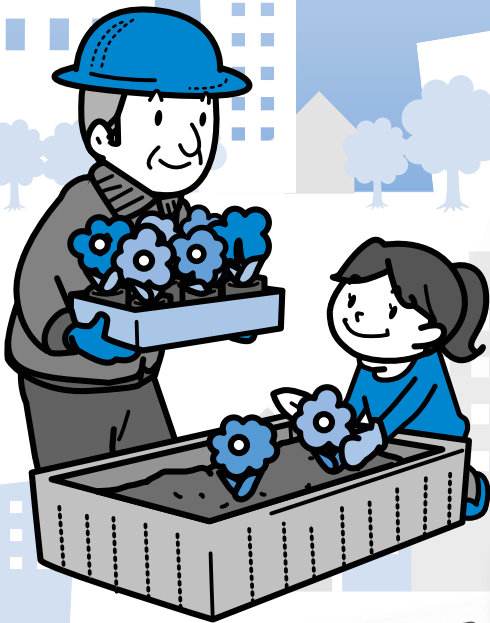
しかし、こうした光景が保たれているその陰には、「みんなに心地よく暮らしてほしい」と願い、

まちを支えてくれている人の姿があります。

今回の特集では、札幌をより住みよいまちにするために活動する人々の言葉を通して、

私たちができることを考えていきます。

この特集に関する問い合わせは、市民自治推進課 ☎211-2253



防犯

夜でも安心して歩けるまちにしたい

昼間は何気なく歩いている道が、夜は暗く、不安に感じることも。「夜も安心して歩けるまちにしたい」そんな思いから、見回りを行っている人たちがいます。

まちを支える人たち

東白石安心安全パトロール隊

東白石地区の町内会に加入する住民161人で構成。4月から11月まで月に4回、徒歩や青色回転灯を付けた車で、夜間パトロールを実施している。



MEMO

東白石地区周辺の窃盗の発生状況

ひったくり、侵入窃盗、自転車盗などの窃盗犯の事件が年々減少しています。

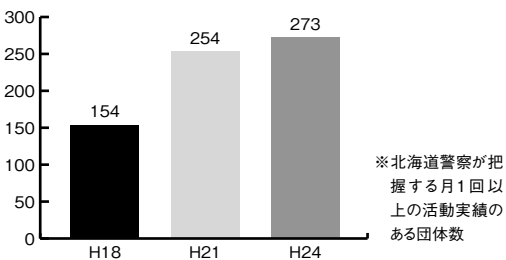
年	平成18年	平成21年	平成24年
件数	941件	715件	534件

※南郷・白石本通・東白石交番管轄内の件数

知ってる? 市内に広がる防犯ボランティア

防犯活動を行う団体は、平成24年で273団体。年々増加傾向にあり、多くの地域でまちの安全を支えています。

■札幌市の自主防犯ボランティア団体数



10年以上前、地域の公園や路上で、ひったくりや痴漢などの事件が頻繁に発生しました。それを機に、住民の安心に少しでもつながるならばと思い、町内の有志数人でパトロールを始めました。パトロールは、夜8時から実施。公園や駅周辺のほか、人通りの少ない場所など、地域をくまなく回っています。月数回の活動ですが、警察から「犯罪が減っている」と聞き、

安全な地域づくりに貢献できているのかなと感じています。こうした地道な活動が地域の方に根付いたからか、参加者数も年々増えており、最近では定年退職した方も多くなります。参加者同士が顔見知りになるので、地域の交流が深まっています。これからも、多くの方にこの活動に参加してもらい、誰もが安心して暮らせるまちにしていきたいですね。

夜間パトロールで
まちに安心を広げたい
東白石安心安全パトロール隊長
藤原 英朔さん



身近な地域の活動に参加したい方は まちづくりセンターへ

市内87カ所に設置。防犯活動や花壇づくりなど、地域で行われている取り組みを知ることができます。また、地域の活動に参加したい方へのお手伝いもしています。

■町内会に加入しよう

町内会ではさまざまな活動を行っています。皆さんも加入して、活動に参加しませんか。



こんなときはまちづくりセンターで相談を

- ・地域でどんな活動をしているのを知りたい
- ・もっと住みよい地域にするために活動したい
- ・町内会に加入したい など

あなたの地域のまちづくりセンターはホームページで確認できます。

札幌市 まちづくりセンター

問い合わせ 市民自治推進課 ☎211-2253

環境

ごみのない 美しいまちにしたい

道端に落ちている空き缶やたばこの吸い殻が、いつの間にか掃除されているのに気付いたことはありませんか。そこには、ごみのないまちにしたいという気持ちから清掃活動を行っている人たちがいるのです。

まちを支える人たち

ラブアース・クリーンアップ in 北海道 (認定NPO法人 北海道市民環境ネットワーク)

全道各地で行われる地域や企業の清掃活動を支援。身近なごみ拾い活動を通して、多くの人に環境への意識を高めてもらうよう呼び掛けている。



知ってる? 市内に広がる環境美化の活動

ラブアース・クリーンアップの活動に、市内の町内会や企業など400を超える団体が参加。昨年はいは2,400kgものごみを収集し、たくさんの方がきれいな環境づくりに取り組みました。

問い合わせ ラブアース・クリーンアップ in 北海道
☎521-4660
ホームページ www.love-earth-hokkaido.jp

【平成24年の参加実績】

・札幌市内 472団体、約21,000人
ごみ収集量 2,417.9kg(報告分のみ)



市内の児童会館
174館で約6,500
人の子どもも参加
しました

5年前にラブアースのごみ拾い活動に参加し、想像以上に多くのごみが捨てられていることに驚きました。それを機に「まちをきれいにしたい」「たくさんの人に自分のまちをきれいにしてもらいたい」と思うようになり、環境への意識がさらに高まりました。ラブアースの活動の中心は、より多くの人に環境への関心を持ってもらい、行動につなげてもらうこと。のほりを立

てながらのごみ拾いやチラシの配布など、地道な活動を続けてきました。その成果もあり、昨年の清掃活動への参加者は、なんと全道で5万人。まちをきれいに保とうという意識が街中に広がっていることを実感しています。環境の分野だけでも、清掃や植樹、リサイクルなどその活動はさまざまです。皆さんも興味のあることを見つけて、行動に移してみませんか。

きれいなまちを
みんなで作っていききたい

北海道市民環境ネットワーク
黒子 奈美江 さん



興味のある分野で活躍したい方は 市民活動サポートセンターへ

NPOやボランティア団体の紹介のほか、活動を始めたい方、NPOなどの団体を設立したい方の相談も行っています。

開館時間 8時45分～22時(日曜、祝・休日は20時まで)
相談時間 火曜～金曜(祝日を除く) 15時～18時30分
所在地 北区北8西3エルプラザ2階 問い合わせ ☎728-5888



紹介できる活動はいろいろ

環境

- ・ごみ減量、リサイクルを推進
- ・植樹、育樹による森づくり

福祉

- ・高齢者の外出や除雪などの生活支援
- ・障がいのある方にパソコンで就業支援

安全

- ・登下校時間帯の見守り
- ・災害時の防災対策 など

子育て 地域で子育てする 温かいまちにしたい

市内に約300ある子育てサロンは、子育て中の親が他の親子と交流したり、子育て経験者に悩みを相談できたりする心強い場所。そこには、ボランティアとして子育てを支える人たちがいます。



まちを支える人たち

子育てサロン「カンガルーポッケ」

地域に住む子育てボランティア10人で構成。里塚・美しが丘地区センターで毎週木曜日に子育てサロンを開催し、おもちゃ遊びや絵本の読み聞かせ、人形劇などを行っている。

知ってる？

まちに広がる子育ての輪

市内で子育てボランティアとして登録している方は約1,000人。子育てを終えた方から、学生、定年退職をした男性まで、幅広い年代の方が札幌の子育てを支えています。

主な活動内容

- ・子育てサロンでの親子とのふれあい
- ・子育て講座での子どもの見守り
- ・子ども向けの催しの事前準備や当日スタッフ
- ・絵本の読み聞かせや遊具作り など

子育てボランティアに興味のある方は 区健康・子ども課へ

年齢、資格を問わず、どなたでも参加できます。講習会やボランティア同士の交流会も開催しています。詳しくは、お問い合わせください。

申し込み・問い合わせ 区役所(1ページ)の健康・子ども課(東区は☎711-3211)

私が初めての育児で不安を感じていたときに、地域の子育てサロンに参加しました。ボランティアさんやお母さんたちと話をすることで気持ち が楽になったんです。そんな経験から、私も何かお手伝いできればと、子育てサロンでボランティアを始めました。 サロンでは、子どもたちと遊んだり、抱っこしながら読み聞かせをしたり。自分の子のように接しています。ハ

イハイしていた子が、いつの間にか歩いているのを見ると、我が子の成長のようによく感じますよ。お母さんたちや他のボランティアの方と、子育ての楽しさや悩みを話すうちに、交流が深まって、友達も増えていきます。 地域で子どもを支える雰囲気が高まれば、子育て中の親の負担も減ると思います。たくさんの方に、子育てボランティアに参加してほしいですね。

育児の経験を生かして 親子を支えたい

カンガルーポッケの子育てボランティア
池田 健美さん



みんなの力でもっと暮らしやすいまちに

市民の皆さんの悩みや、地域が抱える課題はさまざま、行政がその全てを解決することはできません。そうした行政が解決できない部分を補い、支えているのは、市民の皆さんの思いと行動なのです。一人一人の力が集まれば、さらに暮らしやすいまちになっていきます。まずはできることから始めてみませんか。

寄付でまちづくり活動を応援！ さぼーとほっと基金

皆さんからの寄付を、町内会やNPOなどに助成し、活動を支援する仕組み。「福祉」「子どものために」など、使い道を選ぶこともできます。



一定額以上の寄付で基金にご希望の名前を付けることもできます

問い合わせ 市民活動促進担当 ☎211-2964

～ふらっとホーム2012での対話を紹介～

生かします

に意見を交わす「ふらっとホーム」を、各区で開催しました。れた意見の一部を紹介します。

は市民の声を聞く課 ☎211-2045



住 民同士が互いに助け合えるような環境づくりの一つとして、まちづくりセンターなどをもっと気軽に利用できるように促していくことが大切ではないでしょうか。
豊平区 鈴木さん(50代、男性)

私 の住む地域では、高齢者に食事会などを楽しんでもらうサロンを開催しています。一人暮らしの高齢者は外に出る機会が少なくなるもの。子どもたちとの交流もあり、皆さん喜んでくれています。
東区 清水さん(60代、女性)

ふらっとホームとは？

市民と市長が、「福祉」「子育て」「防災」などの身近なテーマに沿って、気兼ねなく意見交換をしながら、暮らしやすいまちづくりについて考える場です。参加者は、無作為に抽出した市民の中から希望者を募り、抽選で決定。毎回活発な議論が行われ、その中のいくつかは具体的な施策に結びついています。

見守りに地域のチカラを！
高齢者や子どもたちの



高 齢の母の自宅に、時折民生委員の方が訪れて声を掛けてくださいます。そういった地域の人たちの支えがありがたいですね。
北区 小林さん(40代、女性)

何 より近所同士のコミュニケーションが重要だと感じます。例えば、地域で早朝ラジオ体操を推進すれば、毎朝顔を合わせることで交流が生まれるし、健康維持にもつながるのでは。
手稲区 匿名(60代、男性)

一 人暮らしの高齢者に、情報がきちんと届けられているか心配です。特に健康管理などの情報を提供してくれる場があると良いと思います。
西区 古舘さん(70代、女性)



■ 昨年の実施日や会場など

区	実施日	会場	対話者数	傍聴者数
中央	10月13日	中央保健センター	8人	25人
北	12月18日	サンブラザ	6人	15人
東	9月22日	東区民センター	5人	30人
白石	11月17日	白石区民センター	7人	20人
厚別	9月30日	羊ヶ丘病院通所リハビリテーション「スマイル」	7人	30人
豊平	10月27日	豊平区民センター	7人	30人
清田	11月10日	清田区役所	3人	22人
南	11月8日	南区民センター	5人	22人
西	12月14日	西区民センター	8人	18人
手稲	10月20日	手稲区役所	5人	28人

昨年度のふらっとホームでの意見から、こんな取り組みが生まれました

防災のための日頃の備えを地下鉄で広報

多くの市民が利用する公共交通機関を活用して、防災の意識を高める広報を行って、という声から、地下鉄駅構内の電光掲示板に災害への備えや心構えを表示しました。

おむつ用ごみ袋のサイズが選択制に

2歳未満の乳幼児がいる世帯に支給する家庭用指定ごみ袋の大きさが、20ℓのみでは使いづらいという声から、10ℓと20ℓから選べるようにしました。

小中学生の教育に自転車マナーを導入

交通安全に関する教育の充実が必要という声から、市内の全小中学生に自転車走行のルールやマナーに関するリーフレットを配布しました。

あなたの声を まちづくりに

市民と市長がまちづくりについて気軽
昨年9月～12月に
このページでは、会場内で交わさ
この特集に関するお問い合わせ

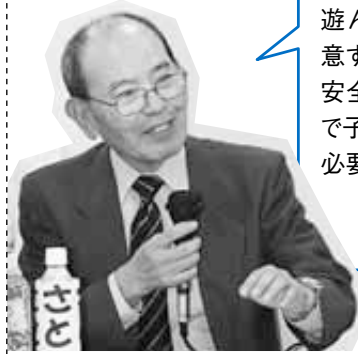


私 たちの町内会では、災害時に一人で避難することが難しい方をどう把握し、どのように支援するかなどについて話し合っています。
南区 金子さん(60代、男性)



マ ンション暮らしなのですが、隣近所との交流が少なくなりがちですね。日頃から、いざというときに助け合える関係をつくっておくことが重要だと思います。
中央区 高橋さん(80代、男性)

近 所の公園で夜遅くまで遊んでいる小中学生を注意することがあります。まちを安全に保つためにも、地域で子どもたちを見守っていく必要があると思うのです。
厚別区 佐藤さん(70代、男性)



地域ぐるみの防災活動が まちの安心をつくる

東 日本大震災の時、助かった人の多くは近隣住民に救助されたと聞きました。防災は、地域ぐるみで取り組まなければいけないと思います。そうすることで、町内会活動もより活発になっていくのでは。
白石区 渡辺さん(50代、男性)

仕 事をしながら地域の消防団活動をしています。いざというとき、住民をはじめ消防署の方と連携して対応するためにも、日頃からのコミュニケーションが大切ですね。
清田区 原田さん(40代、男性)

市長から

災 害時の役割分担など、身近な課題について話し合い、行動することで、地域の連携が深まります。そうした活動を支えるため、市も積極的に情報を発信していきます。



市長から

一 人暮らしの高齢者が増えている今、地域のつながりの重要性が高まっています。普段から隣近所で声を掛け合えるような関係をつくるために、地域の交流の輪が広がる活動を支援していきます。



市政やまちづくりに ご意見をお寄せください

市では、ふらっとホームのほかにも、皆さんの声をお聞きする機会を設けています。

市民の声を聞く課

市政全般に関するご意見・ご提案を随時受け付けています。

☎211-2042 FAX 218-5165
〔相談時間〕月曜～金曜8時45分～17時15分

インターネット市政提案

パソコンや携帯電話からも、ご意見・ご提案をお寄せいただけます。

インターネット市政提案

検索

出前講座

市職員が地域に出向き、市の取り組みや制度について詳しく説明します。市政への理解を深めてもらうとともに、皆さんの声を市政に生かしていくものです。

〔詳細〕広報課☎211-2036

お住まいの区のふらっとホームの様子は、区民のページで紹介しています

NEWS 01

4月から障害者総合支援法が施行されます

難病の方への福祉サービスを拡充

これまでの「障害者自立支援法」

障害福祉サービス

居宅介護 ヘルパーが自宅を訪問し、入浴、排せつ、食事の介護などを行う
短期入所 自宅で介護する人が病気などの場合に、短期間、夜間も含め施設で入浴や排せつ、食事の介護などを行う
就労継続支援 一般企業での就労が困難な人への働く場の提供、就労に必要な知識・能力向上のための訓練など

補装具

車いすや歩行器などの購入と修理に必要な費用の支給

日常生活用具

電気式たん吸引器やパルスオキシメーターなどの給付

身体障がいのある方

知的障がいのある方

精神障がいのある方

難病の方は、障害者自立支援法のサービスの対象になりませんでした

4月1日(月)から、これまでの障害者自立支援法が改正され、新たに「障害者総合支援法」が施行されます。

この改正は、障がいのある方の日常生活や社会生活を幅広く支援することを目指して実施するもの。これにより、新たに難病の方が障害福祉サービスなどの対象となり、心身の状況に応じて、入浴や

食事などの居宅介護、就労に必要な能力を身に付けるための支援などが受けられるようになります。

サービスを利用するためには申請が必要です。お住まいの区の区役所保健福祉課に相談の上、手続きを行ってください。

【詳細】 区役所(1階)の保健福祉課

4月から

「障害者総合支援法」に改正

今回の改正で何が変わるの？

新たに難病※の方が上記サービスの対象になります。

※全身性エリテマトーデスや重症筋無力症、パーキンソン病など、国が指定する130疾患。

詳細は、区役所(1階)保健福祉課にお問い合わせいただくか、ホームページからも確認できます。

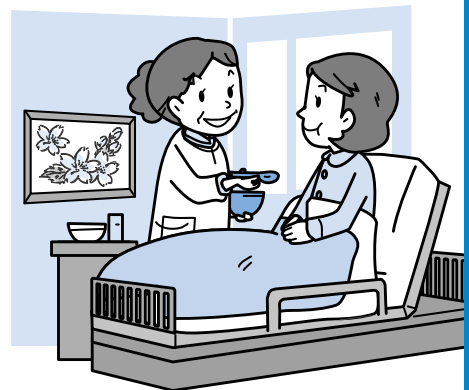
札幌市 総合支援法

検索

サービスを利用するには？

区役所(1階)の保健福祉課への申請が必要です。

- ・申請方法など、詳しくはお問い合わせください。
- ・利用には所得に応じて料金が掛かります(生活保護・市民税非課税世帯の方は無料)。
- ・難病で、かつ、介護保険制度の対象となる方は、介護保険のサービスが優先されます。
- ・難病の医療費助成に関する手続きは、これまでどおり区健康・子ども課で行ってください。



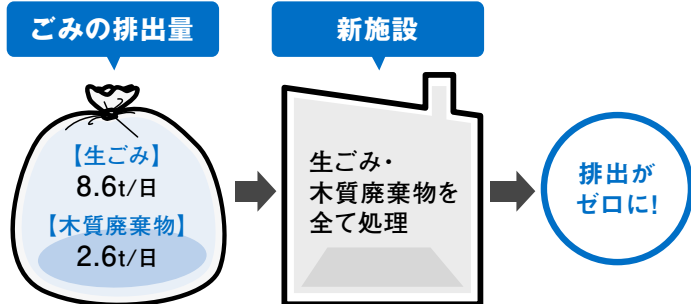
現在、障害者自立支援法のサービスを利用している方は新たな手続きは不要です

現在お持ちの受給者証は、そのまま使うことができます

新たに稼働する施設・設備

資源リサイクル施設

廃棄することになった青果物などの生ごみを乾燥させ、飼料にする施設です。乾燥機の燃料には、木箱などの木質廃棄物を活用。これにより、生ごみと木質廃棄物が排出されなくなります。



太陽光発電設備

荷さばきなどを行うセンターヤードの屋上に太陽光パネルを設置します。発電した電力は、北電に売却するほか、災害停電時には、住民に飲料水を供給する設備の電源として使います。



一般家庭が使う電力のおよそ100軒分を発電!

設置数1,440枚
発電規模327kw

これからも環境に優しい市場づくりを進めていきます

中央卸売市場に、資源リサイクル施設と大規模な太陽光発電設備を導入します。これらは、ごみの減量や温室効果ガスの削減など、市が抱える環境課題を解決するため、新たに設置するものです。市場の広大な敷地を有効に活用し、環境負荷の低減だけでなく、市場全体の運転コストの削減にもつなげます。太陽光発電設備は3月下旬に、リサイクル施設は4月上旬に稼働を開始。一層環境に優しい市場を目指していきます。
【詳細】リサイクル施設については中央卸売市場(611)3111、太陽光発電設備についてはエコエネルギー推進課(211)2872

中央卸売市場

多くの青果物や水産物が売買される、北海道最大の市場です。

取引量年間約41万トン(1,548億円)
総面積12万9,748㎡
およそ札幌ドーム2個分
所在地中央区北12西20



NEWS 02

中央卸売市場で環境に配慮したさまざまな取り組みを実施

リサイクル施設と太陽光発電設備を設置します

NEWS 03

緊急時に子どもを預けられる仕組みの費用を一部軽減

病児・病後児を3時間を超えて預ける方が対象

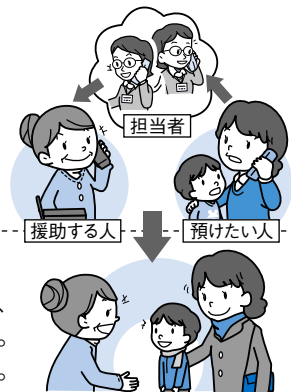
子ども緊急サポートネットワーク

子どもを預けたい人と、援助したい人がそれぞれ会員登録。急な残業や出張など、いざというときに子どもを預けられる仕組みです。利用には事前の登録が必要です。

【登録しておくこと…】

依頼の電話をかけると、すぐに援助してくれる人を探します。

援助してくれる人が見つかり次第、依頼者に連絡。子どもを預けます。



3月から、緊急時に子どもを預けられる会員制の仕組み「子ども緊急サポートネットワーク」の費用を軽減します。軽減対象は、生後5カ月～小学3年で、病児の子(病児)か回復期にある子(病後児)を預ける保護者。子どもを保育所などに預けられない保護者。子どもを預ける方が対象。生後5カ月～小学3年の病児・病後児のみ、3時間を超えた分の料金を30分当たり150円に軽減。※土曜は13時まで。お問い合わせください。【詳細】子育て支援課(211)2988

【利用時間と金額】

一般	7時30分～23時	30分当たり500円～
病児・病後児	月曜～土曜の7時30分～18時	30分当たり500円
宿泊	保育所・学童保育終了時～登園・登校時まで	10,000円～

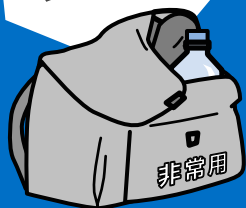
3月から
生後5カ月～小学3年の病児・病後児のみ、3時間を超えた分の料金を30分当たり150円に軽減。※土曜は13時まで

詳しく知りたい方・登録したい方は

子ども緊急サポートネットワーク ☎621-6626 に
お電話ください。

災害に備える

拡大版



東日本大震災から2年がたとうとしています。このページでは、今も市民や市によって続けられている支援活動と、災害時に必要な知識や技能が習得できる施設・講習を紹介。この機会に、災害について一度考えてみましょう。

甚大な被害をもたらした東日本大震災

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、東北地方を中心に大きな爪痕を残しました。地震の規模は日本の観測史上最大。札幌でも震度3を記録しました。

東日本大震災データ

- ・最大震度 7(宮城県栗原市など)
- ・マグニチュード(地震の規模) 9.0
- ・死者 15,880人 ・行方不明者 2,694人
- ・全半壊家屋数 397,918棟 ・札幌への避難者数 1,505人

※震度・マグニチュードは気象庁HPより。死者・行方不明者・全半壊家屋数は2月20日現在(警察庁資料。津波での被害含む)、札幌への避難者数は1月31日現在。

今なお続く、被災者支援活動

市民による被災者支援活動に関するお問い合わせは、市民活動促進担当 ☎211-2964

東日本大震災の影響により、震災前と生活環境が一変した方がたくさんいます。そうした方々に少しでも安心して暮らしてもらえるように、支援活動が続けられています。

市民による支援

支援活動の一部を紹介します

避難してきた子どもたちの学びや遊びを支援 みちのく kids



市内の大学生が中心となり、震災を機に札幌に移り住んだ子どもたちの勉強や遊び、仲間づくりのお手伝いをしています。

津波で失われた図書館を再建 北海道ブックシェアリング



全国から13,000冊以上の本や多くの支援金を集めるなど、岩手県陸前高田市での仮設図書館の開館に協力しました。

市による支援

被災者の健康相談や、道路・橋の整備などの支援を行うため、被災地に派遣した職員は延べ1,085人。寄付を募り、被災者支援団体に助成する活動も行っています。



医師・保健師による健康相談(写真は23年3月。仙台市の避難所)

3/11(月)~13(水)開催

被災地や支援活動を応援する催し



市民による被災者支援活動の紹介や、被災地の障がい者施設で作られた製品の販売を行います。募金も受け付けます。

会場 駅前通地下歩行空間

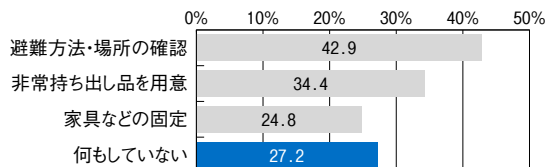
多くの市民が感じている防災の大切さ。しかし備えは不十分

昨年(2022年)の12月に行った市民へのアンケートでは、避難方法・場所を確認している市民が40%を超えていたものの、何も対策をしていない市民も25%以上いるという結果でした。防災の必要性を認識しながら、行動につなげられない市民が依然として多いことが分かります。

大切なのは、「意識」で終わらせず、「行動」に移すこと

[家庭で行っている災害への備え]

・調査期間 昨年12/3~28
・回答数 5,025通(複数回答)



3月11日(月)
リニューアルオープン

市民防災センターで

災害の知識やとるべき行動を身に付けよう!

消火に使う機材の展示や、災害の模擬体験を通して、防火・防災について学べる市民防災センターが生まれ変わってオープン。最新の技術を駆使した3つの展示が新たに登場します。

市民防災センターに関するお問い合わせは、防災協会 ☎861-1211

【施設案内】

住 所 白石区南郷通6北
開館時間 9時30分～
16時30分
休 館 日 年末年始
交通機関 地下鉄東西線「南郷7丁目」駅下車。
徒歩5分



入場
無料

3月11日(月)のみ開館時間が13時からになります

こんな体験ができる!

設備が
新しく

東日本大震災の揺れを体感し、とるべき行動を学べる

地震体験コーナー

リビングを模した部屋で、大地震の揺れを体験できます。実際に起こった地震を分析し、揺れ方や時間をできるだけ忠実に再現しています。



地震の種類が選べる

東日本大震災の揺れや高層ビル特有の長周期地震動、小さな子どもでも体験できる地震など8種類から選べます。

部屋全体が激しく揺れる

最大1mの幅で大きく揺れます。

光や音を再現

建物がきしむ音や、停電の中ショートする電気の光が臨場感を増します。

停電の中での地震を体験できるのは国内ではここだけ!

外の風景が見える

窓を模したスクリーンに、倒壊する家屋や火災の様子が映し出されます。

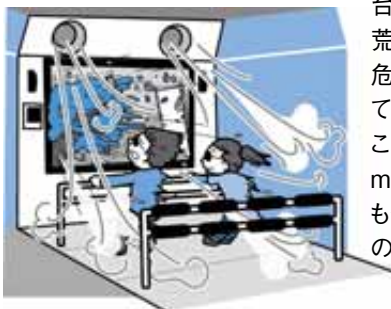
行動が確認できる

音声とモニターの指示に従って、地震時にとるべき行動を学べます。

新設
コーナー

風速30mの風を体感できる

暴風体験コーナー



台風並みの暴風が吹き荒れる部屋の中で、その危険性や対処法について3D映像を通じて学ぶことができます。風速30mの風の中では、大人でも体が流され、呼吸するのもつらいほどです。

3D映像と風速30mの風が併せて体験できるのは、国内ではここだけ!

設備が
新しく

3D映像で災害の知識を深める

災害バーチャル体験コーナー



大型スクリーンで津波や水害などの危険性と対処法が分かる映像が見られます。実写を交えた3D映像と光や風の演出で、実際に災害現場にいるような体験ができます。

より現実に近づけた照明や音などの演出が加わり、災害現場の“怖さ”を感じてもらえる施設に生まれ変わりました。ここで災害への対処法を身に付け、いざというときに役立ててほしいです。

消防局職員
かわせしん
川瀬 信さん



万一の時に役立つ 技能を習得しよう

災害時はもちろん、いざというときに人命や地域を守る技能を覚えておくと、冷静に対応できる上、身近な人々を救う助けになります。

このページに関するお問い合わせは、救急課 ☎215-2070

命をつなぐ技能を身に付ける

応急手当講習

心肺蘇生法や止血法などを学ぶ講習です。実習では、実物大の人体を使ってAEDの使用法や胸骨圧迫、人工呼吸法を習得します。



4月から 応急手当講習が受講しやすくなります

短時間で受講できる
講習を新設しました

全て
受講料
無料

ウェブ WEB講習や普通救命Ⅲを新設

自宅のインターネットを使って学べる「WEB講習」のほか、主に乳幼児・子どもに対する応急手当の方法を学ぶ「普通救命Ⅲ」を新設。これまでの上級救命講習は廃止になります。

普通救命Ⅰの習得方法が多様に

「普通救命Ⅰ」はこれまで、3時間の講習を一度に受ける必要がありましたが、短時間の講習を組み合わせることで、修了できるようになります。

①②③のいずれかに加えて④を受講
→⑤「普通救命Ⅰ」を修了

4月から受けられる講習

講習の種類	会場	受講時間	内容
① 応急手当WEB講習 新 (防災協会HPから受講可)	自宅	1時間	インターネット上で 応急手当の知識を習得
② 救命導入講習 新	地域・学校	1時間	応急手当の初歩が学べる 短時間の講習
③ 救命入門コース 新	地域・学校	1.5時間	
④ 救命ステップアップ講習 新	市民防災センター！地域など	2時間	①②③の受講者向けの 実技講習
⑤ 普通救命Ⅰ	市民防災センター！地域など	3時間	応急手当の基本を学ぶ
⑥ 普通救命Ⅱ	市民防災センター！地域など	4時間	⑤ + 実技と学科の試験
⑦ 普通救命Ⅲ 新	市民防災センター！地域など	3時間	乳幼児や新生児への応急手当
⑧ 応急手当普及員養成	市民防災センター！地域など	3日間	普通救命講習の指導者を 養成する講習

易 ↓ 難

①は自宅ですべて受講できます。②～⑧は申し込みが必要です。開催日時や申込方法など、詳しくは防災協会 ☎861-1211へお問い合わせください。なお、3月中に申し込みができる講習については本誌26ページをご覧ください。

応急手当講習についての詳しい情報は
ホームページでも見ることができます

防災協会 応急手当講習

地域を守る防災組織

消防団

主に地域住民で構成された防災組織です。日頃から地域での防火・防災活動を行うほか、災害時の救助活動なども担います。特に若い方や女性の入団をお待ちしています。

対象 市内に居住か通勤・通学する18歳以上の方
問い合わせ 消防局職員課 ☎215-2020



中学校での救命講習(左)や、文化財を守る消防訓練(上)など、地域に密着した防災活動に従事します。

備えが必要と感じたらまず行動を

災害が発生したとき、適切な行動をとるためには、一人一人が日頃から準備しておく必要があります。

これまで紹介してきた施設や講習などを利用して
災害への理解を深め、あらためて備えを確認しておきましょう。